

なつほ
ミッション

使命

未来の看護師さんに 写真集『生きる喜び』を 届けたい!

ファンド
基金募集

目標金額

120万円

障害を持つ子の親たちは、我が子の生きやすい社会を作ろうと頑張ってきました。しかし、2016年相模原障害者入所施設で元職員が46人の入所者を殺傷する事件が起き、19人が亡くなりました。犯人が犯行の動機として言った「障害者は生きる価値がない」という言葉がマスコミで強調され、差別の風潮が強くなりました。今、「障害があっても生きる価値がある」とアピールしたいと思います。

夏帆のいる場所で、夏帆とともにできることをしようと思案したのが、この「なつほミッション」です。医療的ケアのある日々のなかでの「夏帆の初仕事」への、みなさまの参加をお待ちしています。

河田真智子

なつほ
ミッション

基金募集

● 3,000円のリターン

「あなた」と看護学校学生に、写真集『生きる喜び』（領布価格1200円）を1冊ずつ送付します。

● 5,000円のリターン

「あなた」に1冊、看護学校学生に2冊、写真集『生きる喜び』を送付します。

● 10,000円のリターン

「あなた」に1冊、看護学校学生に3冊、写真集『生きる喜び』を送付します。送料などの活動経費を応援していただきます。

● 30,000円のリターン

「あなた」に『生きる喜び』と『お母さんはここにいるよ』各1冊送付します。看護学校に『生きる喜び』20冊＋本の上映用CDを1枚、『お母さんはここにいるよ』1冊届けます。

なつほミッションの進行状況は
フェイスブックページ「生きる喜び」で随時アップします。

*写真集1000部でミッションを終了します。

切手、
カンパも
歓迎!



お申し込み方法

河田真智子まで、お申し込みください。
お申し込みの「あなた」へ、本と一緒に「郵便振替用紙」を同封します。

郵便振替口座	00110-7-386276	加入者名	河田真智子
--------	----------------	------	-------

- 郵便振替用紙でお申し込み（メモ欄にお申し込み内容を書いて、前払い）も可です。
- 金額分の切手を河田まで郵送いただいても可です。切手の場合は、お申し込みの内容を書いてください（「切手で支払い」「切手のカンパ」など）。河田自宅のポストは直接家の中に入りますので、紛失はありません。

■ お問い合わせ・お申し込み先

- 河田真智子 ● 電話 ▶
- メール ▶ kawadamachiko@gmail.com
 - フェイスブック ▶ 「河田真智子」からメッセージを送信
 - フェイスブックページ ▶ 「生きる喜び」からメッセージを送信
 - 郵便 ▶

- * 電話対応がむずかしいときは、留守番電話になっています。
- * 住所・電話番号はインターネットへのアップをお断りします。

■ 本のみを購入の場合



写真集『生きる喜び』

お申し込みは河田まで。
領布価格1冊1200円＋送料360円（レターパックで送付）
10冊以上購入の場合は1冊1000円に割引、送料無料
【注】写真集『生きる喜び』を自費出版で作りました。1冊あたりの制作費が定価を越えているため領布価格としました。



『お母さんは、ここにいるよ』

毎日新聞社刊 1238円＋税
書店・Amazonなどで購入できます。

河田真智子（かわだ まちこ）

島旅作家・写真家。
1953年東京生まれ。本名、榊原真智子。
成蹊大学文学部卒。マリン企画で雑誌編集を経て、1980年独立。1978年より島の愛好会「ぐるーぶ・あいらんだあ」を30年間主宰。1999年より奄美群島振興開発審議会委員、鹿児島県100人委員などを務める。1991年より障害児を育てながら仕事もしていきたいお母さんのネットワーク「マザー・アンド・マザー」を榊原真智子の活動として1999年まで主宰。現在、胃ろう、気管切開した娘を在宅で育てながら島へ通う。



● 主な著書

- 『島を歩く』（ゆう出版局）
- 『島が好き 海が好き』（新潮社）
- 『島からの手紙』（クロスロード）
- 『島旅の楽しみ方』（山海堂）
- 『南の島へ』（三笠文庫）
- 『島旅の楽しみ方』（三笠文庫）
- 『お母さんは、ここにいるよ』（毎日新聞社）
- 河田真智子写真集『生きる喜び』（自費出版）
- 河田真智子写真集『ひとりひとりが宝もの』（自費出版）

● 主な写真展

- 2004年 『生きる喜び・脳障害児の16年』 新宿ニコンサロン 大阪ニコンサロン
- 2004年 『生きる喜び ありがとうの16年』 目黒区民ギャラリー
- 2005年 『バリ島 光のなかで』 ギャラリー・アートグラフ
- 2007年 『お母さんは、ここにいるよ』 座間ハーモニーホールギャラリー
- 2010年 『ひとりひとりが宝もの』 沖永良部島中央図書館